

令和3年度 どんぐり文庫「読み聞かせ」

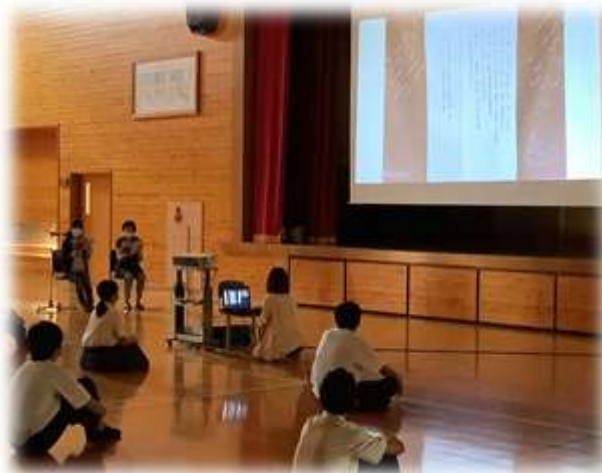
7月21日(水)にどんぐり文庫さんによる読み聞かせがありました。どんぐり文庫さんは合志市を拠点に活動されている読み聞かせボランティア団体です。本校では16年前から月1回程度、読み聞かせをしていただいています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため読み聞かせができませんでした。しかし、生徒からの要望を受け、コロナ対策を講じることで今年度やっと実施することができました。

全校一斉ではなく学年毎に分散し、換気を行いながら広い特別教室で読み聞かせが行われました。スクリーンや大型テレビに映し出される絵本を見ながら、生徒たちはお話の世界を楽しみました。また、ストーリーや登場人物の心情に合わせ意識的に使い分けられる声など、どんぐり文庫さんの表現力の豊かさに驚く様子もありました。

幼い頃に出会った絵本も、大人になってから出会った絵本もその時期に合った受け取り方があり、心が和んだり、温まったりします。今年度の実施についてはコロナの状況によって判断していくことになりますが、どんぐり文庫さんの読み聞かせでほっと一息できる時間が過ごせることを願っています。どんぐり文庫さん、本当にありがとうございます！

以下、生徒の感想を一部ご紹介します。



1年生 「あらしのよるに」、「3びきのかわいいオオカミ」

○今日の読み聞かせは、「あらしのよるに」がおもしろかったです。相手がだれかわかりそうなのにわからないところがおもしろかったです。次の話も楽しみにしています。

○とても声が聞きやすく、本の中に出てくる動物たちがここにいるかのようにリアルでとても面白かったです。また聞いてみたいです。

○いろいろな方法で家を壊しても、花の家になると良い豚になったところが面白かったです。



2年生 「あらしのよるに」、「ばけものづかい」

○自分はあまり本を読まないのですが夏休みの間に読めたらいいなと感じました。

○オオカミとヤギが最後、実際に会ったらどうなるのか気になりました。「ばけものづかい」は最後のタヌキがかわいかったです。

○1冊目のヤギとオオカミの話が好きでした。顔が見えなくて仲良くなるっていう話がいいなと思っていいところで話が終わったのすごく気になりました。



3年生 「あらしのよるに」、「かっぱのなんこう」

○普段は敵対する立場ですが、お互いの姿が見えないこともあり、立場をこえて友達として接する事ができる事に感動しました。世の中には知らない事で上手くいく事もあるんだなと思いました。

○かっぱの手が薬で治ったのですごく良かったです。

○なつかしい気持ちになれて良かったです。